

石高神社拝殿等屋根葺き替えご寄進のお願い

謹啓 時下、益々ご清栄のことと拝察いたします。

石高神社は、備前国古社百二十八社のうちの一社であり、江戸時代初期までは、操山系の高倉山の嶺上に鎮座されてきました。その後、新田開発にともなうて現在の宮山の地にお遷りになった後も、広く清水、藤原、赤田、高屋、関、沢田、湊、円山、山崎、福泊地区の産土神として、崇敬されてまいりました。現代に生きる私達も、平安で心豊かな世の中の到来を祈り継ぎながら、知るとはなしに、朝な夕なにご加護を受けている次第でございます。

これまでも氏子の皆様のご浄財をもちまして、懸命に社殿境内の護持整備を凶つてまいりました。しかしながら、老朽箇所が多く、拝殿の屋根瓦は、ずれて、落下の危険を生じています。釣殿の瓦は、すでに一部落下し、更なる落下が懸念されます。このまま放置しておいて、参拝の皆様がお怪我をするようなことがあつてはなりませんので、屋根葺き替え修理を行うことに決しました。

社殿は、江戸時代後期の建築様式です。地域の文化歴史の財産でもあります社殿を維持し、子孫に伝えていくことは、先人達の想いと努力に報いることにもなります。折しも、新しい令和の御代が始まり、御大典記念ともなりますこの一大事業を是非とも成功させたく存じます。

つきましては、大変厳しい世相の中、誠にあつかましいお願いでございますが、氏子区域にお住まいの皆様を始め、その他各方面のご寄進を賜り、りっぱに修理ができますよう、格別のご配慮とご協力をお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様の益々のご健康とご多幸を、ご祈念致しております。

謹白

なお、氏子総代または社務所が御寄進の窓口となります。役員がご自宅を訪問しました折には、何分ともよろしくお願い申し上げます。総代のいない町内では、社務所が窓口となります。

修理概要

- | | |
|--------|-----------------|
| 一、修理内容 | 拝殿 釣殿 幣殿 屋根葺き替え |
| 一、工事金額 | 九百八十万円 消費税を除く |

令和元年吉日

岡山市中区円山八五三

石高神社

宮司 高原 章兆

氏子総代会一同